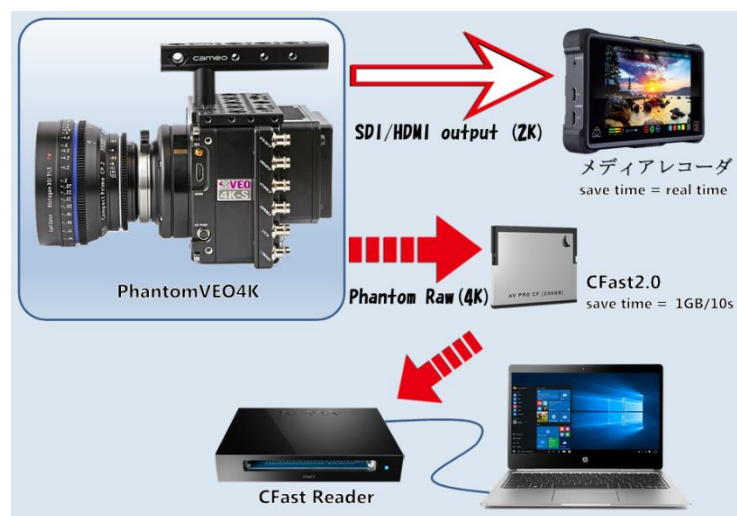


## 外部メモリ収録

PhantomVEO(ヴィオ)4K はカメラ本体に CFast2.0 が搭載可能で、Raw データをその場で保存可能です。容量は 512GB まで対応。転送速度はおおよそ 1GB あたり 10 秒になります。市販のカードリーダーでそのままデータが読み出せるため、よりデータの受け渡しが簡便になりました。

従来の SDI output を利用したプレイバック映像をメディアレコーダへ収録することも可能です。



## カメラ高速通信 10Gb イーサネット

PhantomVEO(ヴィオ)4K はボディより直接 10Gbps でデータの出力が可能になっています。間にコネクタ変換のコンバータを入れることにより、Thunderbolt 対応の PC ヘダirectにデータの保存が可能になります。

転送速度は 1GB/4s となっているため、Raw データ収録としては現状最速のワークフローです。上記外部メモリ収録と合わせて使用することが可能なので、同時に様々な形態での収録を実現します。

